

いるか分教室の教育

いるか分教室は1998年（平成10年）に東京都立墨東特別支援学校の分教室として国立がん研究センター中央病院に開設された学校です。小学1年生から高校3年生までを対象にしており、入院中も学校生活を続けることができます。12階の病棟内に教室があり、治療中でもそれぞれの体調や進度に応じて学習を進めています。



『いるか分教室の教育目標』

- (1) 友達と共に学習したり、協力して活動したりすることを通して、闘病生活を豊かなものにする。
- (2) 学習課題に進んで取り組み、学力の向上に努める。
- (3) 主体的に考えて行動し、進路を切り開く意欲を高める。
- (4) 自己肯定感を育み、お互いを認め合う心を育てる。

『小学部の授業』

前籍校との連携を図りながら、治療や体調を考慮し、楽しく学習できるように授業を進めています。医療スタッフと相談しながら、体験的な活動も取り入れています。

『中学部・高等部の授業』

国語、社会、数学、理科、英語の教員が常駐し、他教科は非常勤講師による授業を行っています。前籍校と連携を図り、学習内容や進度を考慮して授業を行っています。また放課後は、部活動（軽音楽部）にも取り組んでいます。

* 中学部は週29時間。高等部は個々の選択教科、履修単位に応じて、週最大30時間の授業が組まれています。